

国体で3位入賞!! 200m背泳ぎ群馬県新記録達成!

三浦玲央さん(福島・高崎高校3年)



国体でセンターコースを泳ぐ三浦さん

総体、JOC、国体の後も大会が続き、文武両道に励んでいる三浦さん。国体では、「県新記録が出て、表彰台にも立つことができ、最高でした」と笑顔で話してくれました。

茨城県ひたちなか市で9月14日に開かれた第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体2019)の水泳競技に群馬県の代表選手として出場。少年男子A(高校2年と3年)の部の200m背泳ぎ(2分1秒84)で3位に入賞し、群馬県新記録を達成しました。

幼稚園の年長組で水泳を始めた三浦さんは、小学2年生から選手コースへ進み、中学生の時に背泳ぎ全3種目の県中学新記録を樹立。高校生になり、さらに自己ベストを更新して、同50m、100mの県記録を塗り替え、今回の200mの記録で、背泳ぎ全種目の県記録保持者となりました。

次の目標は、さらに上のステージへ。高校卒業後も競技を続ける三浦さんは、日本代表トビウオジャパンを目指して、今日も泳ぎ続けています。



三浦さんにインタビュー



— 今までの競技の中で印象に残ったことは？

中学2年のJOC(ジュニアオリンピックカップ)です。全国大会の表彰台に初めて上ることができ、そこから上のレベルで競っていきけるようになりました。

— 水泳の魅力は？

健康にいい!好タイムが出るとうれしいし、まだ速くなるとわかると楽しいです。

— 休みの日の過ごし方は?家でゆっくりしています。

— 好きな食べ物は何?

小幡のばあちゃんが作るホルモン揚げ。(大会前にいつも食べています)

— 今後の目標は?

インカレ、日本選手権、ジャパンオープンで決勝に残り、速い選手と一緒に泳ぐこと。進学し、水泳競技も続けていきます。

新たなステージへ



みうら れお 18歳 身長176cm・体重75kg
自己ベスト:背泳ぎ50m 26秒37・同100m 56秒26
同200m 2分1秒84

町の NEWS わだしい

身近な情報をお寄せください

総務課行政係 内線213・214

✉gyousei@town.kanra.lg.jp

さわやかにプレー 町親善大会



町体育大会の親善の部として、親善グラウンドゴルフ大会と親善ソフトバレーボール大会が9月29日に開かれ、400人以上の参加者が競技を楽しみながら親睦を深めました。結果は次のとおりです。

第10回親善グラウンドゴルフ大会

(陸上競技場、63チーム・373人参加)

優勝 笹森福寿会A 準優勝 金寿会A
第3位 轟長寿会A 第4位 かんらグラウンドゴルフ協会
第5位 天引第二長寿会A 第6位 城南友愛会



優勝した笹森福寿会Aの皆さん

第6回親善ソフトバレーボール大会

(甘楽町体育館、6チーム(混成チーム含む)・39人参加)

優勝 福島クラブ
準優勝 JAPAN
第3位 かんらちゃん
// TWENTY



「惜しい!!」仲間と笑顔でプレーする参加者



競技の合間には民生・児童委員の皆さんによる啓発活動も行われました

峯岸さんの100歳を慶祝

峯岸喜久さん(大正8年10月8日生まれ・白倉)の100歳のお祝いに森平副町長が10月8日、特別養護老人ホームシルク(白倉)を訪問し、慶祝状と祝金を手渡しました。

峯岸さんは朝鮮半島の京城(現・ソウル)のお生まれで、9人兄妹の三女として育ち、結婚後、夫の実家がある天引で暮らしてきました。

約2年前に同施設に入居し、穏やかな毎日を過ごしている峯岸さんの好きな食べ物は洋菓子で、特に甘いケーキが大好きだそうです。この日は、ご家族や施設の利用者、職員などから誕生日を祝福され、笑顔で応えました。



か かんらちゃんの田んぼアート 稲刈り



町発足60周年記念事業「田んぼアート」の稲刈りが10月20日、福島跨線橋西側の田んぼで行われました。田植えから4カ月、稲は順調に育ち、多くの人の目を楽しませてくれました。台風19号の影響で倒れてしまった稲もありましたが、参加者約40人は黄金色に輝く稲を手狩りで収穫しました。



古代米を収穫



9月27日撮影

心 に響く歌声 甘楽中学校合唱大会



日ごろの練習の成果を披露した甘楽中生の合唱

「中学生が自ら創る60周年記念事業」の校内合唱大会が10月17日、甘楽中学校体育館で開かれました。今回は、生徒の保護者のほか、祖父母や地域の人などにも案内し、中学生とのかかわりや交流を深める機会としました。

生徒たちは、クラスごとに練習を重ねてきた課題曲と自由曲を発表し、満員の会場からは大きな拍手が送られました。

また、アトラクションとしてPTAの合唱や吹奏楽部の演奏、群馬交響楽団のメンバーによる「群馬ブラスクインテット」演奏会も行われ、記念に残る合唱大会となりました。

生 き方を考える 地域貢献事業講演会

社会福祉法人かんら会（森平恵喜理事長）は10月11日、町文化会館で令和元年度地域貢献事業の講演会を開きました。地域住民や介護関係者など268人が参加し、富岡地域医療企業団の佐藤尚文企業長の講演「あなたはどう生き、どう逝きますか？～ACP（アドバンス・ケア・プランニング）のすすめ～」に耳を傾けました。

佐藤さんは「いい人生を送るために、死について向き合い、人生の最終段階における医療などについて自分の考えを伝え、話し合うことが重要です」と呼び掛けました。



誰にでも訪れる死について考え、向き合う
アドバンスを受けた講演会

ふるさと農園で 藍の生葉染め体験

「藍の生葉染めの会」が9月17・24・30日に甘楽ふるさと農園で開かれました。これは、同農園で藍を育てている安藤理恵さん（高崎市）と田中安子さん（福島）の主催で、藍の摘み取りと染色体験を実施したものです。3回で35人の参加があり、参加者は刈り取った藍の生葉をミキサーにかけ、絹のストールなどを染めました。

初めて参加した佐藤孝子さん（福島）は「天然染料で肌にも優しい、さわやかな色合いのストールができました」と話し、講師の安藤さんは「収穫と染色、両方の楽しみを多くの人に知ってもらい、ふるさと農園がさらに盛り上がるとうれしい」と話されました。



自分たちで収穫した藍で染色体験をする参加者の皆さん

開園20周年 農園収穫感謝祭

入賞者の圃場を見学する参加者の皆さん



甘楽ふるさと農園では、利用者を募集しています。利用希望者は☎(74)7428へお問合せください。

甘楽ふるさと農園では10月20日、第20回収穫感謝祭が開かれました。同農園管理組合（吉田恭一組合長）主催の農園づくりコンテスト表彰式や圃場見学、バーベキュー大会などで参加者125人が交流を深めました。

今回の表彰式では、開園から20年間農園を利用している6人と栽培管理状況の良さや工夫をこらした農園を作った28人が各賞を受賞しました。

主な受賞者

- 最優秀賞 久場良弘さん（東京都北区）
- 町長賞 堀越泰久さん（高崎市）
- 農業委員会長賞 高橋勝男さん（造石）

満開の花を楽しむ ちいじがき蕎麦の花祭り

蕎麦づくり入門「花祭り」が9月29日、秋畑那須地区のちいじがき蕎麦の里で開かれました。オーナーなど約150人が満開の白い花を見ながら蕎麦の豊作を祈りました。

会場では豚汁や赤飯などが用意され、県重要無形民俗文化財指定の「那須の獅子舞」の演舞や地元出身の中野新太郎さんのミニコンサートが行われました。天候に恵まれ、のどかな秋の一日を楽しんだ参加者は「蕎麦の花がとてもきれいで、参加して良かった。収穫も楽しみです」と話していました。



伝統の獅子舞が披露されたちいじがき蕎麦の里